

# 「浸水被害住宅の技術対策マニュアル」解説講習会 受講申込書

1	受講者氏名			
2	勤務先名			
	勤務先住所 (又は自宅住所)	〒		
3	受講料 (テキスト代 1,100 円 ・消費税含む) (該当項目に○)	イ. 建築士会会員	2,750 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振込手数料はご負担下さい。</li> <li>・賛助会員は 1 社につき 1 名を会員受講料とします。</li> <li>・当日欠席の場合、テキストはお渡ししますが、受講料は返金いたしません。</li> </ul>
		ロ. 専攻建築士	2,200 円	
		ハ. 一般	4,400 円	
4	納入方法 (該当項目に○)  締切:10月2日	イ. 銀行振り込み 百十四銀行 県庁支店 普通口座 0066201 名義 シヤ) カガワケンケンチクシカイ (一社) 香川県建築士会 ロ. 窓口持参		
5	CPD登録番号			

- ※ この申込書を FAX またはメールでお送り下さい。
- ※ 受講料を確認後、受講券及び領収書を発送いたします。当日は受講券をお持ち下さい。
- ※ 建築士会 CPD 制度に未登録の方で、登録希望の方は申込書をお送りしますのでご連絡下さい。

(公社) 日本建築士会連合会  
災害対策委員会からのお知らせ

**FREE** 『浸水被害住宅の技術対策マニュアル』

出水期に入って早々、台風2号/梅雨前線などによる浸水被害が発生しています。応急・復旧対応にぜひご利用ください。  
連合会ホームページからダウンロードできます。↓  
[https://www.kenchikushikai.or.jp/data/saigai-taiau/202306\\_info\\_1-3.pdf](https://www.kenchikushikai.or.jp/data/saigai-taiau/202306_info_1-3.pdf)

こちらの二次元バーコードからもダウンロードできます→



『浸水被害住宅の技術対策マニュアル』が完成しました！

近年の多種多様な災害に対し、一定の技術を有する「技術ボランティア」と呼ばれる人々が被災地で活躍しつつある中、被災住宅等の安全確保のための応急措置や災害後の復旧を円滑に運めるうえで、行政や建築士会等の組織と技術ボランティアとの適切な協働が望まれています。

そこで、被災地の建築士の体験を通して得られた災害復旧対策の知見と豊富な実践写真を集約し、実用的なマニュアルにまとめることとしました。

**マニュアルの内容**

- 第1章 はじめに
- 第2章 被災住宅の応急処置と応急復旧工事
- 第3章 被災住宅の相談窓口業務
- 第4章 被災住宅の応急復旧体制の構築

**実用的な内容が満載♪**

応急処置をまぎい建物のトリアージ方法や、被災現場窓口での具体的な相談事例、いろいろ載っています！



応急処置と応急復旧工事

- ・解体かつ応急処置かつトリアージが必要
- ・応急処置をいへば、被害のリフォーム等を考慮する
- ・なるべく応急かつ復旧対策を講ず
- ・住宅の復旧と応急復旧体制の構築も大事

被災住宅の応急復旧体制の構築

1. 建築士会連合会の災害復旧体制の構築

2. 被災現場での応急復旧体制の構築

3. 被災現場での応急復旧体制の構築

4. 被災現場での応急復旧体制の構築

5. 被災現場での応急復旧体制の構築

6. 被災現場での応急復旧体制の構築

7. 被災現場での応急復旧体制の構築

8. 被災現場での応急復旧体制の構築

9. 被災現場での応急復旧体制の構築

10. 被災現場での応急復旧体制の構築

トリアージ  
判断例を紹介

判断例をいくつか紹介

1. 応急復旧が必要な建物

2. 応急復旧が不要な建物

3. 応急復旧が不要な建物

4. 応急復旧が不要な建物

5. 応急復旧が不要な建物

6. 応急復旧が不要な建物

7. 応急復旧が不要な建物

8. 応急復旧が不要な建物

9. 応急復旧が不要な建物

10. 応急復旧が不要な建物

FAX 送信先 : 087-833-5394 (一社) 香川県建築士会  
Mail : kenchikushi-kagawa@nifty.com